

設立 **40** 周年・

公益法人移行 **10** 周年記念誌

銀 輝

シルバー の かがやき



公益社団法人古河市シルバー人材センター

『銀輝（シルバーのかがやき）』とは

『シルバー』と聞くと、『高齢者』と連想する方は少なくないと思います。本来は、銀や銀色という意味ですが、現在では、『シルバー＝高齢者』がすっかり定着しているようです。

シルバーとは、1973年9月15日の敬老の日、旧国鉄が設置した高齢者優先席を座席の色から『シルバーシート』と名付けたことが由来とされています。

当センターでは、『シルバー』を単に高齢者と表現することなく、元気でいきいきと就業する会員さんを指すものと解釈しています。

その雄姿を『銀（シルバー）』として表し、生涯現役として『輝（かがやく）』ことを願い、『銀輝』の文字に思いを込め、多くの会員さんが築きあげてきた40年の軌跡を本誌に綴りました。

* 目 次 *

| | |
|----------------------------|----|
| *ごあいさつ | |
| ・ 理事長あいさつ _____ | 1 |
| *40周年を祝して（祝辞） | |
| ・ 古河市長 _____ | 2 |
| ・ 古河市議会議長 _____ | 3 |
| ・ 茨城県シルバー人材センター連合会会長 _____ | 4 |
| *シルバー人材センター事業のあゆみ _____ | 5 |
| *40年のあゆみ | |
| ・ 設立からのあゆみ _____ | 7 |
| ・ 設立当初、設立20周年、設立30周年 _____ | 9 |
| ・ リサイクル自転車を被災地へ _____ | 12 |
| ・ 事業活動風景 _____ | 13 |
| ・ 衛生委員会による巡視・各企業へ訪問 _____ | 17 |
| ・ ボランティア清掃 _____ | 21 |
| ・ 定時総会 _____ | 23 |
| ・ 演芸会・新年会 _____ | 24 |
| ・ 親睦旅行 _____ | 25 |
| ・ 事業実績 | |
| 1) 年度別事業実績 _____ | 27 |
| 2) 男女別登録会員数の推移 _____ | 30 |
| 3) 年齢別会員数の推移 _____ | 31 |
| *関係者の声 | |
| ・ 役員の声 _____ | 33 |
| ・ 発注者の声 _____ | 36 |
| ・ 地域班長の声 _____ | 38 |
| ・ 会員の声 _____ | 39 |
| ・ 表彰会員の声 _____ | 44 |
| ・ 表彰者の声 _____ | 45 |
| *40周年の感謝状・表彰状 | |
| ・ 会員へ表彰状を贈呈 _____ | 47 |
| ・ 企業様へ感謝状を贈呈 _____ | 49 |
| *資 料 | |
| ・ センター役員名簿 _____ | 51 |
| ・ センター委員会名簿 _____ | 54 |
| ・ センター事務局組織図 _____ | 60 |
| ・ センター案内図 _____ | 61 |
| *あとがき 編集後記 _____ | 62 |



設立40周年「銀輝に向けて」

公益社団法人古河市シルバー人材センター

理事長 鈴木 誠

当センターは、昭和58年に古河市ミニシルバーとして発足し、昭和60年に古河総和広域シルバー人材センターとして設立されました。市町合併に伴い、平成18年に三和町シルバー人材センターを統合して古河市シルバー人材センターとなり、平成26年に公益社団法人に移行して現在に至っております。

今般、設立40周年並びに公益社団法人移行10周年を迎えることとなります。これもひとえに、古河市をはじめとする関係機関のご指導・ご支援によるものと厚くお礼申し上げます。

また、市民の皆様や地元企業などのお客様各位のご理解・ご協力に衷心より感謝申し上げます。そして何よりも会員の皆様と歴代の理事長、役員の皆様に敬意を表する次第でございます。

当センターのピーク時には会員数約1,770名、就業延べ人数16万人、受注件数も5,000件を超え、茨城県内でもトップレベルのセンターとして飛躍的な発展を遂げることができ、古河市における「高齢者の福祉増進」にも大きく貢献できたものと考えております。

設立当初は、刃物研ぎ、ふすま・障子張り替え、ペンキ塗り、植木剪定など会員の技術・技能を活かした請負が中心でしたが、技能者の減少や人材の確保が困難となり、年々、作業内容を縮小してまいりました。一方で、派遣事業に就業する会員が大きく増加し、時代の変遷を感じているところでございます。

近年では、コロナ禍や社会保障制度改革、インボイス制度等の税制改革等が大きく影響して、シルバー人材センターを取り巻く環境はより一層厳しくなり、これらの影響から受注金額及び会員数が著しく減少しています。

こうした中、さらに高齢化が進展する古河市において、シルバーの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を推進しながら、高齢者の社会参加や生きがいづくりに努めるとともに、古河市民に寄り添い、地域社会に根差した身近なシルバー人材センターとして、更なる飛躍を目指して努力してまいります。

結びに、会員皆様の益々のご活躍を祈念するとともに、古河市民の皆様、お客様各位、関係機関の皆様方の深いご理解とご支援をお願い申し上げます。また、記念誌発刊にあたり、ご寄稿いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。ご挨拶といたします。



祝 辞

古河市長 針 谷 力

この度、公益社団法人古河市シルバー人材センターが設立40周年及び公益法人移行10周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

昭和60年6月に古河総和広域シルバーとして設立以来、「自主・自立・共働・共助」の事業理念のもと、一貫して高齢者への就業の場の提供に取り組むとともに、高齢者の生活の充実と地域社会の活性化に大きく貢献されてきました。

これもひとえに、歴代理事長をはじめ、役職員並びに会員の皆様の長年にわたるたゆまぬ努力と意欲的な取組の成果であり、深く敬意を表します。

さて、我が国では、少子高齢化の進行で働き手の中心となる世代の人口が減少し、労働力の不足が今後ますます大きな課題になると予想されます。

また、人生100年時代を迎える中、働く意欲のある高齢者が、個々の事情に応じて生涯現役で活躍し続けられるような雇用・就業環境を整えていくことが求められております。

こうした中、地域における高齢者の多様なニーズに応じた就業機会を提供する古河市シルバー人材センターの役割はますます重要になっており、地域社会や地域経済のニーズを踏まえた事業にも取り組まれているほか、アクティブシニアや女性を意識した新規会員の加入促進にも取り組まれております。

今後も、古河市シルバー人材センターの更なる飛躍に向けて、引き続き、地域社会の活性化につなげる役割を担っていただきながら、これまでの取組に加え、高齢者により多様な働き方を提供するための新たな事業展開にも意欲的に取り組んでいただきますことを期待しております。

結びに、公益社団法人古河市シルバー人材センターの益々のご発展と皆様の更なるご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。





祝 辞

古河市議会議長 赤坂 育男

公益社団法人古河市シルバー人材センターが、この度、設立40周年および公益法人移行10周年を迎えられましたことを心からお祝いを申し上げます。

貴センターにおかれましては、設立以来、長年にわたり高齢者の方々に生きがいのある生活の実現や、地域福祉の向上、活性化に貢献してこられました。ここに理事長を始め、会員の皆さま方のこれまでのご労苦に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

さて、ご承知のとおり、少子高齢、人口減少社会は急速に進んでおり、生産年齢人口が減少することによる労働力の不足は、より深刻さを増してくると予想されます。また、市民のライフスタイルが多様化する中で、地域での暮らしにおける人と人とのつながりは弱まり、生活課題も複雑化してきています。

そのような中で、豊富な知識や経験をもつ高齢者の方々に社会経済活動や、地域社会を支える担い手として活躍していただくことは、今後ますます大切になってまいります。貴センターにおかれましては、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、地域の高齢者が意欲ある限り働き続けることができる環境づくりを進めるため、さらなるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、地域の皆さまが互いに支えあい、助け合うことができる地域共生社会の実現に向け、支援および協力をしてまいり所存であります。

結びに、公益社団法人古河市シルバー人材センターの今後のますますのご発展と、皆さまのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会
会 長 綿 拔 剛

この度、公益社団法人古河市シルバー人材センターが、設立40周年及び公益法人移行10周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和60年8月に認可されて以来、地域の高齢者の生きがいづくりや福祉増進に大きな貢献をされてこられました。これもひとえに、歴代の理事長さんをはじめ会員、役職員各位のご尽力の賜物と深く敬意を表する次第でございます。

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、働く意欲がある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現に重要な役割を担っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大や70歳までの就業機会の確保などの影響により会員数が減少しており、県シ連では、コロナ前の水準に回復させることを目標に、県内センターと共に女性会員の拡大、退職者層への働きかけ、新しい生活様式に対応した多様な就業機会の開拓などに取り組んでおります。

こうした中、貴センターは、現在944人余の会員を擁し、令和4年度には4億5千7百万円の受注実績をあげられるとともに、長年培った知識・経験等を有する元気な高齢者を数多く会員とされ、一般家庭はもとより企業、公共団体等における事務、管理、サービス等幅広い職域で活躍されるなど、県内屈指のセンターとして多くの市民から深い信頼を寄せられています。

設立40周年を新たな契機としまして、今後さらに地域社会の期待に応える魅力あるセンターとして成長し続けるようご期待申しあげますとともに、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

